

協定留学近況報告書

記 入 日	2018年 11月 30日
留 学 先 大 学	ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):経営学部, (現地言語での名称):BWL <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2018年9月－2019年7月
明 治 大 学 での 所 属	経営学部経営学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部4年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

まず他の国に留学されている方もよく仰ることかと思いますが、出発前からトラブルがある人無い人、そこは本当に運次第だと思います。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類:留学生用ビザ	申請先:外国人登録局(Auslaender Behoerde)
ビザ取得所要日数:6か月(下記欄に詳細を書いております) (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:無

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

大学の入学許可書、財政能力証明書、パスポート、大学の許可のサイン入りの Termin の紙(家主のサイン入りの紙)、保険証明書、AOK からもらった保健証明書、etc.,, ※担当者によって変わるので参考までにしていただけると幸いです。

具体的な申し込み手順を教えてください。

ドイツに留学する場合は日本国籍やその他の一部の国の国籍の人はドイツに渡航後に外国人登録局でビザの申請をします。ドイツの公的な役所は本当に担当する人次第でそのやり方が変わってきますのであらかじめそのことを念頭に置かれたほうがよろしいかと思います。基本的な手順としてはドイツに渡航後、具体的には住所が定まってから(明治大学からの留学生の方でしたら基本的に寮に入寮した後ということになります)外国人登録局(Auslaender Behoerde)の Buerger Buero というところで住所登録(Anmeldung)をします。それが済んだ後に今度は別の建物でビザの申請をするための予約をします。少々わかりにくいかもしれませんが、ドイツではビザの申請をするために面接の日にちの予約をするというシステムなので、この段階では住所登録の際にもらった証明書(Melde Bescheinigung)とパスポート以外のものは必要ではありません。実際のビザ申請の日程は担当官の人が決めて、そのあとにビザ申請待ち外国人であることの証明書がもらえます。日程は早い人だと数週間から遅い人だと半年先まで様々です(同時に何人かで申し込んだ友人は全員月単位で日程が違ったと言っていました。)。あとはその日程に再度外国人登録局に行って必要な書類を提出してビザ申請は終了です。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

報告書提出段階でまだビザの申請が完了していないため回答できませんが、質問がある方は国際教育事務室経由でメールを送っていただくればなんでもお答えいたしますので遠慮なく聞いてください。

ビザ取得に関して困った点・注意点

前述のようにドイツは基本的に仕事が個人の裁量に任されていますので本当に人によって状況が変わる可能性があります。優しい人だった場合はすんなりいかもしれませんが、基本的に役所で務めている方は日本人からするとかなり威圧的というか冷たいと思われる方も仕方がない方が多いように思われます。僕はドイツ語がC1くらいのレベルの状態であつたので普通に一人でやって、しかも担当官も奇跡的に優しく気さくな女性の方だったので特に問題はなかったですが、もし不安なようでしたらドイツ人の友達についてきてもらうのもいいかもしれません。というよりこちらで出会った日本人の留学生は基本的にチューターがついていたので一緒にやってくれたそうです。(僕は大学間協定留学でこちらの大学のBWL、つまり経営学部にも所属していたので、こちらの Modernes Japan で日本語を専攻しているドイツ人学生のチューターはつきませんでした。最初はみんな一人でやってるものかと思っていたのですが後で僕以外みんなチューターがいてびっくりしました。留学先の学部を現代日本語学部 Modernes Japan にしたら多分あちらの大学からチューターを自動的につけてくれるそうです。もし違う学部に行くけどチューターをつけてほしいようでしたら、現地に到着後デュッセルドルフ大学の現代日本学部の藤田先生という女性の教授が留学生関係のことを取り仕切ってもらえるのでコンタクトを取ってみたいほうがよろしいかと思います。デュッセルドルフ大学の 24.21 という建物が現代日本学部の建物なのでその日本でいうところの3、4階にオフィスがあるので頑張って探してみてください。)

Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

今回のドイツ留学の準備にあたって最も僕がてこずったのは保険の問題です。明治大学から協定派遣される留学生は必ず明治大学指定の東京海上日動の海外保険に加入することが義務付けられています。デュセルドルフ大学から学生証(Studenten Ausweis)をもらって授業の登録をするためにはドイツでも有効な海外の会社の保険、またはドイツ国内の保険に加入していることの証明が必要になってきます。入学許可通知が5月ごろに届いた後にセメスター登録料とこの保険に入っている証明を送るように言われたのでこの明治大学の保険の証明書を送ったのですが、海外旅行保険はダメだという謎のダメ出しを食らい、あちらの大学に直接電話をして色々と話した結果、ドイツに到着後にドイツの保険会社(大学キャンパス内に支社がある AOK というドイツ最大の保険会社を勧められることが多いです)に加入して直接インターナショナルオフィスに証明書を提出することになりました(学生証をもらうためにはこの保険に入っている証明が必須なのでこれが無いと授業など諸々の登録ができません)。現地到着後に大学の食堂近くにある AOK のオフィスに行ったところ、日本で加入した保険を見せたら「この保険はドイツでも有効な可能性があるからもう一回外国人登録局に行ってこれが有効か聞いてきてください」と言われ、後日再び外国人登録局に行ってその旨を聞いたのですが、「うちでは保険会社のことや医療機関の情報は扱っていないから保険会社に聞いてくれ」と言われました。その足で再び前日に訪れたオフィスに行ったところ、違う担当者の方に見せたらあっさり日本の保険を承認して証明書を発行していただけました。その後元の担当者の方にもあったのですが笑顔で「ああ、まあ大丈夫かな、よかったわね！！」とにこやかに挨拶されました。つまりところ人によって言ってること違うし意味わかんないけど話をまともに聞いてくれる人に会うまで根気よく頑張るといのが大事だと思います(ちなみにドイツでは海外の保険会社が承認されるかの基準にその保険が歯医者と女性の場合はそれに加えて妊娠した場合の保証が組み込まれていることが必須です。丁度僕が留学した今年から明治大学側がその2つを新たに保証内容に加えてくださっていたので今回は結局ドイツの保険に入らずに済みました。ちなみに昨年と一昨年の先輩方はこちらの保険と日本の保険の両方に加入しなくてはいけなかったそうです)。もしドイツの大学に留学を検討されてるようでしたら保険については日本の保険だけで十分ですのであちら側の押しに負けずに頑張ってみてください。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ポーランド航空				
航空券手配方法	<p>格安航空会社のサイトを複数利用して渡航の3か月前から一番安いのを探し続けて結局渡航の1か月半前くらいに購入しました。中国やロシア、東欧系の航空会社はなかなか安いです。あとは他の友人に聞いたところ各航空会社のHPから直接買うのがかなり安いと聞きました。値段にこだわらない、直行便がいい、補償内容を充実させたいという場合でしたら大学のキャンパスサポートが一番手間がかからずいいかと思います。</p> <p>※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。</p>				
大学最寄空港名	デュッセルドルフ大学	現地到着時刻	19時頃		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	20~30分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

S-Bahn や路面電車を乗り継いで行くことができます。車内でも駅構内の券売機でも購入することができますがちゃんと買っていただいたほうがいいです。無賃乗車もやろうと思えばできますがばれるとすごい高いお金を払わなければいけないのでちゃんと毎回変わることをお勧めします。大学から Studentenausweis をもらったら州内を自由に移動することができます。

大学到着日	月 日 時頃
-------	--------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 10月2日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input checked="" type="checkbox"/> その他(無)
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	6月から7月頃にデュッセルドルフ大学からの指示通りに申し込みしました。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

こちらの大学から紹介していた大ものに入りました。所定の手続きを踏めば何の問題もなく入寮できます。大体出発の3か月くらい前(6か月くらい)に大学からもろもろのメールが来るのでそれに従えば大丈夫です。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	10月8日	
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須	<input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	僕はBWLの学部に来ている交換留学生や ERASMUS の学生用の説明会に参加しました。授業のシステムや履修の方法、シラバスを確認する方法などの内容でした。	
留学生用特別ガイドス	<input type="checkbox"/> あった	<input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	10月8日から	

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

滞在許可というのかわかりませんが、こちらに来てしたことは Auslaender Behoerde でやった住所登録くらいなのでおそらくそれをおけば大丈夫だと思います。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特にはしていません。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

僕は Sparkasse という銀行で学生用の口座を作りました。料金は学生なので無料です。まずは電話または直接銀行の窓口に行って銀行口座を開きたいのという旨を伝えて手続き日の予約を入れます。その時に当日にどんな書類を持ってきてほしいのか伝えてくれるのでそれを当日持って行くだけでした。担当者の方にもよりますが僕の担当者の方は親切な方だったのですんなりいきました。書類は Auslaender Behoerde で住所登録をした際にもらえる Meldebescheinigung とパスポート、あとは日本のマイナンバーを聞かれたので日本にいる家族に番号を教えてもらってそれを伝えました。その他には AOK から承認してもらった保険の証明書や大学の入学許可書を持って行ったと思いますがそこは人によりけりだと思いますし指示があると思うのでそれに従えばいいと思います。またこちらで口座を作る場合に注意しなくてはいけない点として Sparkonto ではなく普通の Konto(ドイツ語で銀行口座のことです)を作るということです。僕も最初に言われたときはどちらを作ればいいのかわからなかったのですが、Sparkonto は基本的にこちらに留学する学生が作る用のものということで最初はそれを勧められました。Sparkonto は主に留学生在が現金を預金してそれをビザ申請などの際の滞在する際の財政能力証明に使うものようで、僕の場合は奨学金で留学費用を賄っていた関係上、ビザの申請の際に必要な滞在にあたっての財政能力証明書類に奨学金の証明書を使うつもりだったので普通の Konto を作りました。奨学金の証明書以外を使う方はまた別なのかもしれませんがとりあえず普通の口座を作っておけば困らないと思います。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

こちらで使えるようにあらかじめシムフリーの端末を持ってきておいたのでそれにドイツで買ったシムカードを入れて使用しています。僕は vodaphone という携帯会社で購入しました。他の留学生たちは Aldi などのドイツのスーパーで買ったものを使用している人も多かったです。好みでいいと思います。また購入手続きの際にパスポートは必須なので忘れないようにしたほうがいいです。料金は僕が使っているものは一か月で2GBの通信量と通話機能込みで15ユーロくらいだったと思います。結構安いです。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あつた」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

大学から学生証(Studentenausweis)をもらった後に学生番号などをもろもろを入力することで専用のサイトで登録できます。下記に URL を記載しますので参考にさせていただけると幸いです。学籍番号をもらう前でも学部や大学院の全ての授業のシラバスや時間割を確認することができるのでこの大学を検討されている方はご覧になってみてどんな授業があるのか調べてみるといいかもしれません。ちなみに HHULSF と検索しても出てきます。

<https://lsf.uni-duesseldorf.de/qisserver/servlet/de.his.servlet.RequestDispatcherServlet?state=user&type=0&topitem=&breadCrumbSource=&topitem=functions>

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

僕は保険のことなどで大学側と揉めたのでもらえなかったのですが、普通だったら7月くらいには所定の手続きを踏めばドイツから学生証などの学籍番号が郵送されてくるのでそれを使って登録することができます。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
9:00						自由時間 or 図書館で勉強	基本的に土曜 日と同様
10:00	授業	図書館		授業		たまに旅行	
11:00	授業	図書館	運動	授業	運動	友人と遊んだり	
12:00	昼食	昼食	運動	授業	運動		
13:00	運動	図書館	昼食	授業	昼食		
14:00	運動	図書館	授業	昼食	授業		
15:00		図書館	授業	図書館	授業		
16:00	図書館	授業	授業	図書館	図書館		
17:00	図書館	授業	授業	図書館	図書館		
18:00	図書館	自由時間	帰宅	図書館	帰宅 or 金曜な ので飲みに行く		
19:00	帰宅		勉強	帰宅	自由時間		
20:00			勉強	自由時間			
21:00			勉強				
22:00			勉強				
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

デュッセルドルフ大学はドイツでも比較的新しい大学です。日本でいうところの文系の学部が多いですが医学部も併設されていて様々なことを学ぶことができます。授業はもちろん日本の大学の授業とは大きく違います。比較的學生が活発に発言やディスカッションをして自由な雰囲気の中で学ぶことができます。現代日本学部に所属する場合は割と手厚く留学生へのサポートやチューターの手配などがありますが、他の学部に所属する場合だと普通に現地の學生とほぼ同様の手続きをして扱われ方もあまり変わらないです。もちろんドイツ語ができる場合ならの話ですし他のヨーロッパの地域やそれ以外の學生たちもドイツ語の習熟度は様々なので、それによって現地でできたドイツ人の友人に頼んでいるようなことをやってもらったり、あとは大学の国際交流課のような部署主催の留学生の welcome パーティーのようなもので様々な學生に知り合うこともできます。僕は日本から来た関係上、この大学に来てからドイツ人や日本人などの知り合いを作るきっかけはいっぱいあったのですが、他学部や僕の所属する BWL の学部の友達と話していると、特に留学生はなかなか友達を作るのに苦労しているという話を聞きました。もちろん学部の規模とその人のキャラクターによるものだと思いますが、寮に関してですが、僕はとてもいい寮を引いたのでラッキーでした。一年間いると一人部屋の寮を、半年だと日本でいうところのシェアハウスのような形式の WG 形式の部屋を紹介される傾向があるそうです。寮によって値段やキレイさもまちまちですがここは本当に運というよりほかないです。

デュッセルドルフは流石にヨーロッパ屈指の日本人の多い街だけあってアジア人向けのスーパーや生活雑貨店もたくさんありますし日本人や韓国人、中国人経営のレストランやお店がたくさんあります。なのでたまにそういったものが恋しくなったらいつでも手にすることができるのでなかなか住み心地はいいと思います。あと北ドイツなどに比べるとあまり寒くないです。それでもドイツなので乾燥しますし日本よりも寒いことには変わりないのですが。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

他の留学経験者の方も書くようなことを書くようなのですが、やはり留学して何をするのかどうしたいのかということがないただ漫然と海外で過ごただけということになって終わってしまうと思います。特にこの街はドイツでありながらそうしようと思えば日本にいた時と変わらないような生活ができます。それこそ日本にずっと触れることができますし日本に興味があって日本語が完全に通じるドイツ人もたくさんいます。個人の価値観なので何とも言えませんが、こちらに来て漫然と過ごして少しだけドイツ語が片言で分かるようになったくらいで帰るのなら、日本で Goethe Institut にでも通いながらある程度本気で勉強すれば1年もかからずに B1 から B2 くらいのレベルには到達できます。こうして書くと少し上からで傲慢な書き方になってしまうかもしれませんが、こちらの大学に来てこちらの学生や他の国の留学生たちと話していてやはり基本的な平均レベルが日本より圧倒的に高いと感じました。僕はもともとこちらで Praktikant(仕事見習い、日本でいう長期インターンのようなものです)をやりながら大学院進学かこちらで働けるようにする準備など諸々をやるために来たのですが、ドイツではそれをやりたいと望んで能力があればいくらでも自分で可能性があるんだと改めて実感しています。それはもちろん日本でもドイツでも恵まれたことに先進国(ここで先進国と書くのは見る人が見たら反感を買いそうですが一番端的に表せる言葉が思いつかなかったのこう書かせていただきます)ならどこの国でもそうだと思います。だからもちろん留学に来てからも努力し続けるのは当然として、留学して何がしたいのかを考えて少しずつでも留学前からそれに向かって準備をしていっていただければと思います。癪に障る言い方もかもしれませんが、正直こっち来てからやればいいとか、ある程度通じるし B2 とかで日本人学生の中だとドイツ語ができるし現代日本学部のドイツ語の学生の友達とかと話していて満足している人を良く見ますが、正直そういう人の英語もドイツ語もまじめに聞いていても何言ってるかわかんないですし、将来ドイツや海外で働きたい願望がある方が多いようですが絶対無理だと思います。もちろん言語能力や専門分野の知識だけでなく本人のキャラクター的な部分も大事な要素なので一概には言えませんが、せっかくの留学ですのでそもそもドイツ語や英語といったところはこちらにくる前提条件くらいに考えて、こちらに来てそれに磨きをかけながらそのあとの人生の選択肢を増やしていくほうにフォーカスするとすごい楽しくかつワクワクした留学生活が送れると思いますので、是非ドイツやヨーロッパに留学しようと思っている方は日本にいるうちから頑張ってみてください。ヨーロッパはシェンゲンのおかげで国境がないようなものですし、ドイツ語だけでなく例えばフランス語やスペイン語など他の言語ができればそれだけで可能性がまた何倍にも広がります。僕は日本を出るタイミングで母語の日本語と韓国語、それに英語とドイツ語は大学で学べるくらいにしてフランス語とイタリア語は基礎を終えたくらいで渡航しました。ドイツに来てからもフランス語やイタリア語の母語話者と話したり大学に併設されている無料のクラスも C1 くらいまでのレベルがあるのでそれに参加したりすることで日本にいた時よりかなり効率的に楽しく言語能力を上げることが可能です。自分語りをしているようであれなのですが、言いたいことは本当にやろうと思えば何でもできるしそのチャンスが無限に転がっているのです是非色々なことにチャレンジしていただければということです。大学の国際交流事務室の方に僕の連絡先を聞いていただければ僕がサポートできることでしたら何でもしますので、もし何か些細なことでも何でも気軽に連絡してください。人生で一番柔軟なこの時期に留学を検討されている時点ですごくいいことですし、せっかく学費を払って大学に通っていてヨーロッパなら割と簡単な基準で留学出来るチャンスがあるのなら是非そのチャンスを使ってほしいと思います。皆さまの留学生活や今後の学生生活がより良いものになるよう祈っております。少し失礼な書き方をした部分等々駄文長文大変失礼いたしました。最後までお読みいただいた皆さま、ありがとうございます。